



地域医療連携室だより

Community Healthy Network News

共に診る・共に支える地域医療



病院から施設へ

平鹿総合病院 院長 齊藤 研

当院は令和4年度、病床削減を行います。病院のダウンサイジングの1つである減床です。病棟削減ではありませんが、ほぼ1病棟分の46床を減じ、稼働病床は419床になります。これまで病棟削減を平成27年、31年と4年毎に2回行いました。今回も含め、主な理由は入院患者数減少であり、それと看護師等の医療従事者確保困難です。

この削減に伴い、退院が停滞すると入院を受け入れられない、いわゆる「出口問題」が生じます。現状では転院はなかなか難しく、自宅退院も厳しいケースが増え、唯一受け皿となる介護・福祉施設への入所が重要な律速段階となります。

病院としても、午前退院・午後入院の方針を示し、退院の目途がつけば平日でも退院を促進し、家族の希望による週末、祝祭日の退院が集中しないようすすめてまいります。当医療圏における急性期病院の役割機能をしっかりと果たすためには、入退院の「回転」を早めて在院日数を短縮し、地域の期待に応える必要があります。

これまでも地域医療連携室が中心となって施設を訪問し、退院後の受け入れをお願いしてきました。地域包括ケアネットワークの結びつきを、より強固にし、今後なお一層のご協力をお願い申し上げます。

もくじ

| | |
|-------------------|---|
| 病院から施設へ | 1 |
| 連携医療機関・介護福祉施設のご紹介 | 2 |
| 当院の診療部門・事務部門の紹介 | 3 |
| インフォメーション | 4 |

連携医療機関・介護福祉施設のご紹介

より良い病診連携を目指して

渡辺内科循環器科医院 院長 渡辺 一



渡辺内科循環器科医院は平成13年10月19日に診療を開始し、昨年10月に開業20周年を迎えました。この間平鹿病院には多くの患者さんを引き受けていただきました。その際に、病院が現在の地に移ってからは「地域医療連携室」にはどれだけお世話になったことでしょうか。私が平鹿病院で働いていた頃はそういうシステムはなく、今思えば院内外のやりとりはたいへんであったと思います。外来診療の最中に紹介の電話にでるために事務にある電話まで移動しなければいけないことが私はとてもいやでした。逆の立場なら電話で相手の仕事を中断させることはしたくないと思いました。今ならば、緊急の場合を除けば、連携室のおかげで先生方の仕事に割り込むことをせずに情報提供、交換ができることは画期的なことだと思います。



連携室との電話でのやりとりの中で相手の人柄が伝わってきます。連携室の方々の対応はこちらの気持ちをほっとさせてくれます。おそらく随分と気をつけていらっしゃるでしょう。私はたいへん感謝しています。今後もより良い病診連携を目指していただきたいと思います。私も協力いたします。

私は元気なうちはずっと診療を続けていくつもりです。平鹿病院、連携室の皆様には引き続きよろしく願いいたします。

私は元気なうちはずっと診療を続けていくつもりです。平鹿病院、連携室の皆様には引き続きよろしく願いいたします。

～「温かい心とやさしい手」のサービスを～



サポートセンターかまくら
管理者

畠山 諒太

平成21年12月に有料老人ホームかまくら、平成23年5月に有料老人ホームかまくら2号館を開設させていただき、早いもので両館とも10年以上が経ちました。

今までいろんな利用者様やご家族とお会いさせて頂き、始めは「介護」という部分からかわりをさせて頂くのですが、お会いしたり、お話をさせて頂くたびに、いろんなことを話されるようになります。

そうしていくうちに、利用者様のこれまでのご経験や思いを受けて、利用者様の人生そのものを感じ、微力ではありますが、その方の人生に参加させて頂いているんだと思うと、責任の重さも感じますが、利用者様やご家族の感謝の言葉を頂くことが、私たちの喜びです。

寝たきりで介護度の高い利用者様が多く、お声がけをしても聞こえていない、ご理解いただけてないと思われがちですが、わずかにほほ笑んだり、嬉しそうな表情をしてくれるときもあり、利用者様には全部届いていると思います。

弊社社長が「笑顔の数だけ人生と喜びがある」とよく話されますが、この言葉そのものを日々の仕事の中で感じることで、この仕事に充実を得ています。

大変なことも多々ある職業でもありますが、それ以上に利用者様やご家族の優しさに触れながら働くことができることに日々感謝をしております。

地域に根差し、これからも心のふれあいを大切に、スタッフ一同、温かい心とやさしい手のサービスを心がけていきたいと考えておりますので、皆様のご支援、ご協力の程、宜しくお願い致します。



当院の診療部門・事務部門の紹介

当地域及び当院の救急医療について



平鹿総合病院
循環器内科 診療部長
救急センター運営委員長

深堀 耕平



地域医療には様々な側面があります。その中でも救急医療は欠かすことのできない最たるものです。急病や外傷から救命すること、後遺障害を減らすこと、苦痛を少しでも早く緩和することは医療の原点です。救急専門医が不在の当地域ですが、昔から病診連携を軸に質の高い救急医療が維持されてきました。迅速な対応が要求される救急医療においては、医療機関と救急隊の連携も必須です。心肺蘇生、電気ショックは勿論、気道確保、ライン確保、アドレナリンやブドウ糖の投与など病院前医療行為が拡大される中、救急隊に求められる知識、技能は以前とは比較できないほど多岐にわたっています。幸い横手平鹿地域には多くの優秀な救急救命士をリーダーとした救急隊が、常に質の高い病院前活動をしており、当院では毎年救急救命士の院内実習を通じてお互いの顔の見える関係を構築しています。2007年からは市内病院及び横手消防署の共催により「横手救急フォーラム」を定期開催しています。医療機関と救急隊が、症例検討や研究発表を共有し知識習得及び業務内容の相互理解を図り、より連携のとれたハイレベルの救急医療を実施できるよう協力しています。

横手市消防本部がまとめた2021年統計資料によると救急出動件数は3,765件でした。人口減少、コロナウイルス流行の中、前年より9%以上増加しています。93%が横手平鹿地域の医療施設に搬送されており、うち64%を当院が対応しています。入院加療の対象とならない軽症者は約33%と少なく、救急搬送例における重症化率はかなり高いと考えられます。一方高齢化を背景に65歳以上の傷病者が全体の約75%を占めており予測通り増加傾向にあります。この観点から医療機関のみならず様々な介護施設との連携の重要性も今後さらに高まると思われます。

当院では近年、呼吸器内科や心臓外科領域の機能縮小により、市外医療機関への転送を余儀無くされる患者さんも増えています。各診療科の協力と連携、多職種によるチーム医療により、可能な限り質の高い救急医療を提供できるよう務めています。医療機関のみならず、当地域の関係者の皆様には今後も引き続き、ご理解ご協力を賜れますようお願い申し上げます。

診療情報と地域連携



平鹿総合病院
医事課 診療情報管理室
課長補佐

笹村 奈々子



診療情報管理室は院内の診療情報を管理・活用する部署です。診療情報には診察記事はもちろん、様々な検査データや画像データ、コ・メディカルによる記録も含まれます。その一部として診療情報提供書があります。

診療情報提供書はご紹介いただいた患者さんの診察結果や、当院での治療を終え、かかりつけ医を担っていただく地域の先生方へ患者さんの治療内容・状態などをご報告する大切な役割を担っています。切れ目ない医療を提供していく上で重要な情報として、診療情報提供書には可能な限り検査データや画像データ、所見等を添付するよう心がけております。

当院では電子カルテ稼働開始から10年以上が経過しました。診療情報管理はモノの管理から情報の管理へ変化してきましたが、診療情報が重要な資料であり重要な財産であることに変わりはありません。蓄積された診療情報は、日々の診療、個別症例の検討や比較、地域の疾病統計やコホート研究など様々な場面で活用されています。

今後も安全かつ適切に診療情報を管理し、地域の先生方へスムーズに情報提供できるよう努めて参ります。

患者紹介に関するお願い

紹介患者診療予約の申し込み

○地域医療連携室

TEL.0182-45-6012 (連携室直通)

FAX.0182-32-0698 (連携室専用)

※外来診療申込書と診療情報提供書をFAXにてお送りください。

救急搬送の依頼

○希望する診療科の当番医へお電話ください。

TEL.0182-32-5121 (代表)

FAX.0182-32-0649 (救急搬送対応)

※急性心筋梗塞や急性冠症候群が疑われる場合

[緊急心カテホットライン : **PHS.070-6498-5960**]

コロナ関連問診票について

当室では、令和4年2月より新型コロナウイルス感染症対策のため、患者さんを当院へご紹介いただく際には、外来診療申込書・診療情報提供書と併せて「**コロナ関連問診票**」をFAXしていただいております。**問診の結果に応じて、受付場所や必要な検査のご案内**をさせていただきますので、引き続きご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

尚、「コロナ関連問診票」について、ご不明な点や再送付のご希望がございましたら、当室までご連絡ください。

地域医療連携室スタッフ

| | | |
|-----|----|----|
| 室長 | 榎本 | 好恭 |
| 副室長 | 堀川 | 洋平 |
| 看護師 | 新田 | 広子 |
| | 大沢 | 知佳 |
| 事務 | 武藤 | 進 |
| | 中嶋 | 秋子 |

平鹿総合病院

〒013-8610 秋田県横手市前郷字八ツ口3番1
代表 TEL:0182-32-5121 FAX:0182-33-3200
URL : <http://www.hiraka-hp.yokote.akita.jp/>

地域医療連携室

*月曜日～金曜日(土日祝日除く) 8:30～17:00
時間外は救急センターへご連絡をお願いいたします。
直通 TEL:0182-45-6012 専用 FAX:0182-32-0698
E-mail : tiiren@hiraka-hp.yokote.akita.jp